

「私の仕事」

学生時代に救急救命士の資格を取得したことがきっかけで消防の世界へ。市外から電車通勤をしながら救急の現場で経験を積み、結婚を機に消防本部で勤務。秋に出産を控え、育児と仕事の両立を目指します。

消防本部総務課
北村 佐織さん

消防の制服にはマタニティーもあります



採用：平成 25 年度
配属歴

平成 25 年	消防署警備第1警防係
平成 27 年	消防署御園分署警備第1救急係
平成 28 年	消防署警備第1救急係
平成 31 年	消防本部消防課消防係
令和 2 年	消防本部総務課庶務係

仕事の内容

採用後、消防・救急隊員や機関員（車の運転手）などを経験し、結婚を機に本部の事務業務へ異動になりました。消防課では、救命講習の指導員としての業務、総務課では、消防職員人事や研修、職員の福利厚生事務をしています。

働く前は、消防職は体を動かすことが仕事だと思っていました。しかし、デスクワークも多く、報告書を作成する業務など、パソコンを使用する業務も多々ありますので、パソコン操作

がある程度できると役に立つと思います。

印象に残っている出来事は？

昨年実施した、救急車の受納式の式典の企画を行ったことです。式典マナーでは、ちよつとした気付きや心配りについて「男性職員が実施していたら気付くことができなかった」と言われたことが印象的です。



式典では司会を担当しました

救急隊は24時間勤務です。交代で休憩時間があるのですが、シャワーを浴びていたときに出勤命令がありました。急いで出勤したのですが、搬送者の方から「そんなに濡れてどうしたの？」と逆に心配されたことがあります。

人あつての職場

心と体が資本の仕事なので、自分の業務に合わせて、休みはしっかりあります。有給・夏季休暇などのお休みも自分の仕事のペースに合わせて取得可能です。

私は現在、妊娠中ですので、妊婦が取得可能な休暇（妊婦の通勤の緩和・妊婦の健康診査及び保健指導のための休暇）などを取得し、自分のペースで無理なく勤務しております。

子どものいる同僚が多く、配慮があり「家庭あつての仕事」という雰囲気があります。

また、女性隊員が勤務する場所には女性専用のトイレ・更衣室・仮眠室・シャワー室があり、安心して勤務できます。

育児と仕事の両立

今後は、出産後、育児休暇を取得する予定です。

職場復帰した際も活用できる制度を活用し、仕事と子育てを両立し、将来的には、現場活動にも復帰したいです。

受験を考えている人へのメッセージ

現在、伊勢市消防本部には、現場の救急隊が2名、本部事務が5名（1名は市役所へ出向、2名は育児休暇中）の計7名の女性消防職員がいます。また、沖縄県・鹿児島県・石川県などの、県外出身者もいます。職員数では圧倒的に男性が多い職場ではありますが、女性が活躍できる場面も多くあります。

熱意のある方はぜひ採用試験を受験してほしいです。一緒に働ける日を楽しみにしています。

「消防士あるある」を

聞いてみました

- 料理にニンニク効かせがち
- 食事は麺類避けがち